お知らせ



【同時資料提供先】岡山県政記者クラブ 倉敷市役所記者クラブ

岡山三川(旭川・吉井川・高梁川)の堤防点検・安全利用点検を実施します。

岡山河川事務所では、岡山三大河川(旭川・吉井川・高梁川)のうち、 岡山市・倉敷市などの人口、資産が集中し、河川のはん濫により甚大な被 害が発生する恐れのある県南の平野部区間の管理を担当しています。

岡山平野は地盤高が低く、河川のはん濫を防ぐ堤防の役割は特に重要であり、岡山河川事務所では堤防を常に健全な状態に保つため、日々河川巡視を行い、異常箇所の発見及び速やかな処置に努めています。

梅雨、台風等の本格的な出水期を前に、堤防に穴や亀裂、緩み、法崩れなどの異常が発生していないか確認する堤防点検と河川利用者の多くなる」 - ルデンウィークを前に、安心して利用していただくため、河川敷の安全利用点検を実施します。その結果、異常な箇所があった場合は速やかに処置を行います。

◆旭 川水系 平成22年 4月20日(火)9:00~15:00

◆吉井川水系 平成22年 4月21日(水)9:30~15:00

◆高梁川水系 平成22年 4月22日(金)9:30~15:00

国土交通省岡山河川事務所

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所

電話 086-223-5101(代)

副所長(技術) 植田 憲治(内線205)

管理第一課長 長畑 利彦(内線331)

専門職 中野 勝久(内線330)

岡山三川(旭川・吉井川・高梁川)の

堤防点検・安全利用点検を実施します。

1. 実施日時 旭 川: 平成22年 4月20日(火)9:00~15:00

吉井川: 平成22年 4月21日(水)9:30~15:00 高梁川: 平成22年 4月22日(木)9:30~15:00

2. 点検参加者

参加者は岡山河川事務所職員の他、防災エキスパート、河川愛護モニター、占用者(岡山市、倉敷市、総社市、赤磐市、瀬戸内市、和気町の6自治体) 点検に参加する人員は延べ80名程度の予定

3. 出発場所 旭 川: 今在家河川防災ステーション及び国土交通省

百間川出張所

吉井川: 国土交通省 西大寺出張所及び吉井川上流出

張所

高梁川: 西原広場グラウンド (高梁川左岸・船穂橋上流部)

4. 取材場所

取材につきましては、次のとおりご案内いたします。別紙位置図でご確認ください。

旭 川: 今在家河川防災ステーション 午前9時頃

(洪水時など、緊急復旧を行う拠点として、H21 年度に完成しました

河川防災ステーションにて出発式を行います。)

吉井川: 国土交通省 西大寺出張所 午前9時30分頃 高梁川: 西原広場グラウンド(高梁川左岸・船穂橋上流部)

午前9時30分頃

5. 点検内容

吉井川、旭川及び高梁川の直轄管理区間をそれぞれ6班(別添、点検実施範囲を参照)にわけ、徒歩により堤防及び護岸、樋門等の施設点検と河川敷を安心して利用いただくため、親水護岸などの施設や利用頻度の高い区域について安全利用点検を行います。

6. 点検結果

点検結果は岡山河川事務所でとりまとめ、補修等の必要な箇所は速やかに処置を実施します。また、点検で得た情報は今後の維持修繕等河川管理の資料として使用します。

点検結果と対応策については、岡山河川事務所のホームページで公開します。

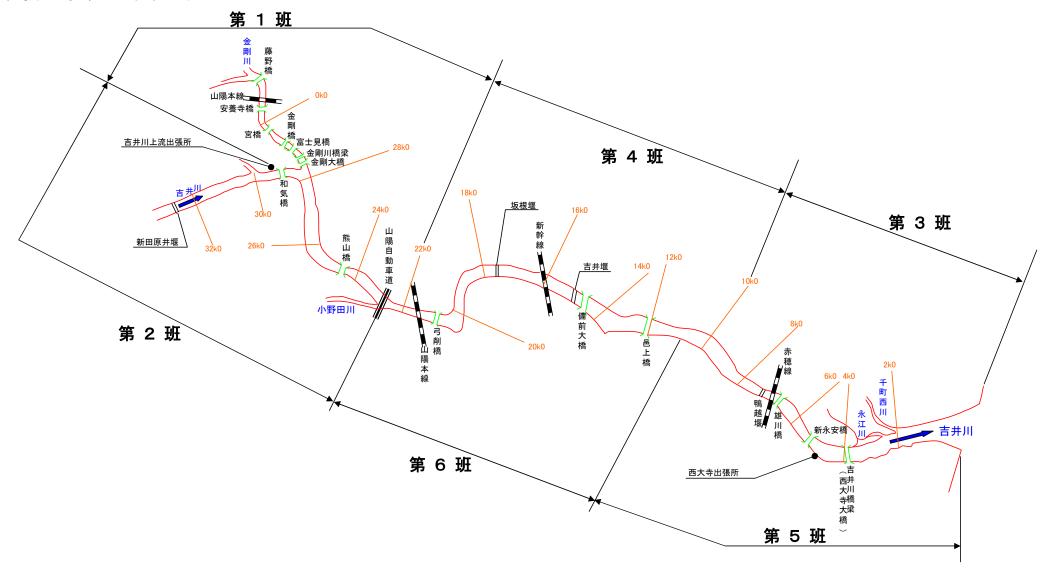
防災エキスパートとは

阪神・淡路大震災を契機に、災害時におけるボランティアの果たす役割の重要性が認識され、平成8年1月に公共土木施設等の被害情報の迅速な収集等をボランティアとして行う「防災エキスパート制度」が発足されました。これまでに地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局において約5,500名が登録されており、地方公共団体においても制度が発足しています。

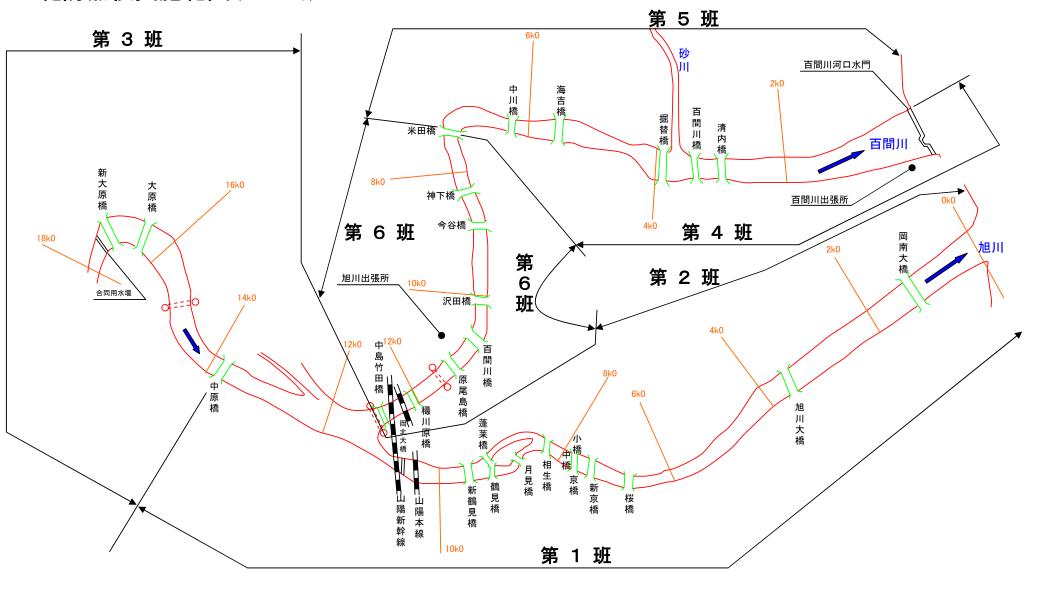
河川愛護モニターとは

地域の連携により、河川利用、河川環境及び河川整備に関する地域の要望を十分に把握するとともに、河川愛護思想の普及啓発及び河川の適正な維持管理に資するために、公募により委託している方々で、現在は8名の方が登録されています。

堤防点検実施範囲(吉井川)



堤防点検実施範囲(旭 川)



堤防点検実施範囲(高梁川) 第 4 班 第 3 班 山陽自動車道 JR山陽新幹線 10k0 井原鉄道 第 2 班 22k0 高梁川出張所 18k0 総社大橋 槇谷川(20k0 -5k8 水島大橋 人 -2k0 南山橋。高梁川派川 湛 井 堰 高梁川 矢形橋 豪渓秦橋 (二万谷川 眼田橋 新船穂橋 末政川 ■JR山陽本線 高梁川大橋 二万橋 福松橋 ➤ 高梁川 霞 新潮 橋 霞 堰 高馬川士 箭田橋 _ 真谷川 宮田橋 第 5 班 6k0 第 1 班 八高橋 ↓ 井ノロ橋 猿掛橋 第 6 班

旭川で取材をされる方へ

報道関係の取材の方は、

平成22年 4月20日(火) 9:00頃に

今在家河川防災ステーションに集合下さい。



吉井川で取材をされる方へ

報道関係の取材の方は、

平成22年 4月21日(水) 9:30頃に

国土交通省西大寺出張所に集合下さい。



高梁川で取材をされる方へ

報道関係の取材の方は、

平成22年 4月22日(木) 9:30頃に

船穂橋上流の河川敷に集合下さい。



今在家河川防災ステーションの概要

事業概要

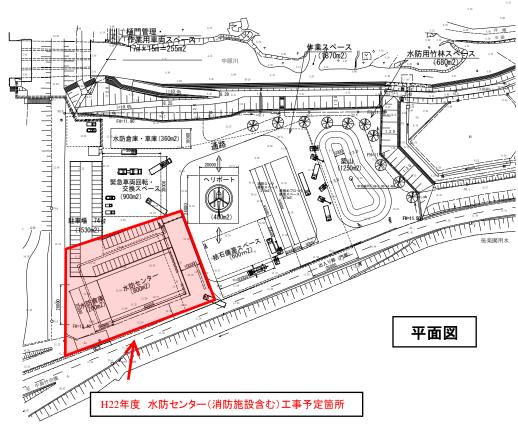
中四国地域の中核都市である岡山市を流れる旭川及び百間川沿川には市街地がせまり、過去より堤防の決壊などの被災が集中しており、万が一堤防の決壊などが発生すれば、市街地の大部分が浸水し、多くの人命・財産が失われる危険性が高まってきています。また、水防・備蓄倉庫やヘリポートなどの防災施設の浸水により効率的な緊急復旧活動が阻まれる恐れがあります。

洪水時などの円滑かつ効果的な河川管理施設保全活動及び緊急復旧活動を行う 拠点及び平常時の市民の交流・学習の場として、治水上、河川管理上重要な百間川 分流部周辺(岡山市今在家地先)に河川防災ステーションを整備しています。

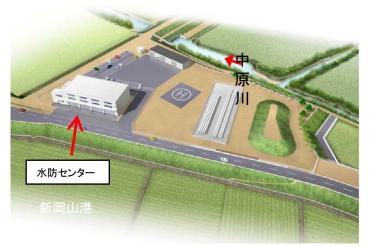
なお、今在家河川防災ステーションとして、国土交通省がH21年度で施設整備を行い、その後、岡山市がH22年度で水防センター(消防施設含む)の整備を行います。







平常時



洪水時

